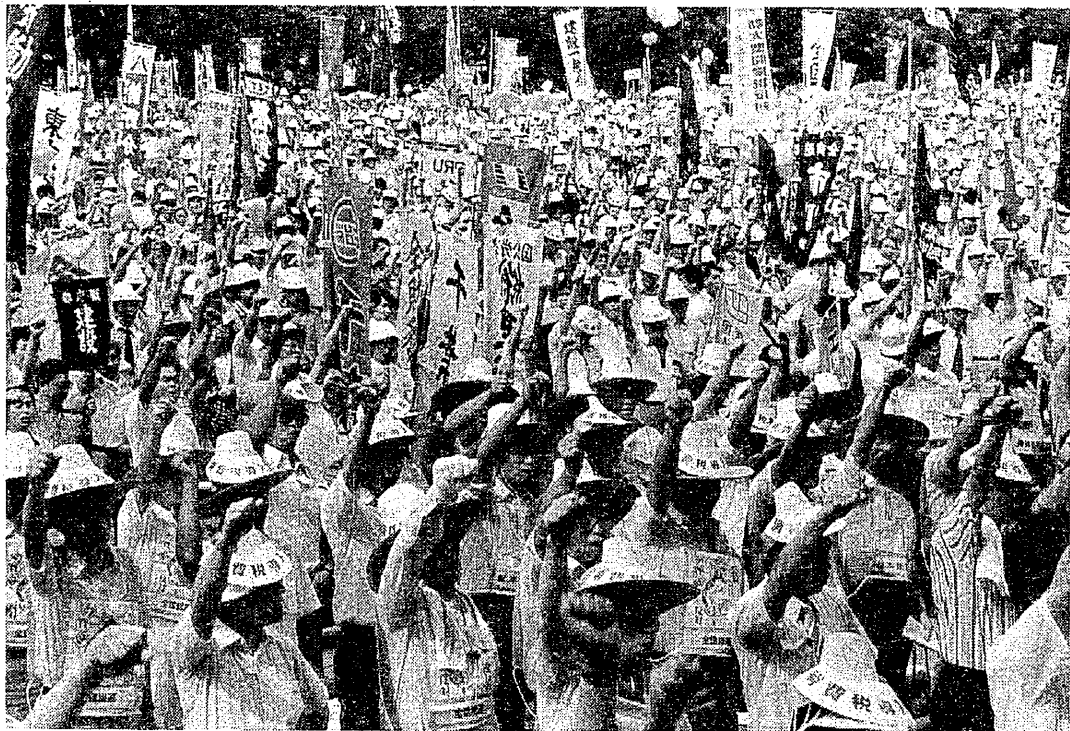




ぶつつぶそう消費税

(大型間接税反対のための)
中央連絡会主催・中央集会で

消費税反対福岡県民集会・9月18日(日)午後1時・福岡須崎公園

いま、政府・自民党は、産業構造調整の名のもとに、石炭産業をはじめ不況産業を徹底的に切り捨てる政策を推進している。第八次石炭政策は、その政策の第一の試金石として、国内炭の撤退を前提とする「なだらかな山・縮小」を主な内容とするものでした。

積極的な方針討議で 新たな課題に挑戦しよう

断じて認められないとの立場から、可能なかぎりたたかいて、取り組みましたが、これを阻止することはできません。このたたかいは継続するため、六月末で解雇された二十四

され、能率の大幅引き上げ、採掘切羽の集約などによる労働強化や保安確保の面で重大な状況も派生し、さらに職種別賃金制度の見直しも企図されています。

客甲段階での三菱高島炭鉱の閉山に続いて、政策が施行された昨年四月以降、三井砂川炭鉱、北炭真谷地炭鉱が閉山に追い込まれ、残された炭鉱にも縮小合理化の攻撃が激しく襲いかかってきたことは周知の通りです。

三井炭鉱においては、昨年の希望退職などの合理化に続いて、

八八春闘は、各社軒並みに低額妥結を強いられた。三井は合理化決着まで交渉が延期されていました。十六日午前十一時から再開後の第一回交渉が開かれます。

人全員が解雇無効と損害賠償を請求して提訴しました。また十二月末に解雇される七人もこれに合流し、裁判闘争の新たな段階を迎えます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井不当解雇訴訟団は七月十九日の裁判提訴以後、総評の支援決議、さつに九州ブロック各県評のカンパ決議をうけて、八月中旬から佐賀県評・各地区労のオルグに入り、九月初旬からは熊本県評関係のオルグに入っています。今後長崎・福岡県評など、さらに活動を強めていくことにしています。

春闘交渉を再開

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。

三井、太平洋が百三十円(一・五九%)で妥結していることから、これを最低として額・支払い条件などで格差を許さないたたかいに取り組んでいます。



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼
発行人 杉本一男
半年間1,800円送料共
振替口座番号
労働金庫大牟田支店
825-0000569

9・28坑内火災抗議集会
とき 9月28日(水)午後5時
ところ 第一鉱(元三川鉱)正門前
一九八八年度 定期総会
とき 10月2日(日)午前9時
ところ 労働金庫大牟田支店ホール

定期総会に向けて方針討議へ 合理化許さぬ態勢を

十月二日の一九八八年度三池労働定期総会に向けて、すでに九月十日の委員会で行った方針案と予算案が提起され、各分会の討議が始まっていますが、今後のたたかいをどう構築していくかについて積極的な討議が求められています。

提起された方針案は、国際情勢・一年間のたたかいの総括(産業別国内情勢・石炭情勢・三池炭鉱の)と三池(三井)がおこなわれています。情勢などの特徴にはじまり、昨年とくに、石炭政策闘争と三井の

今回の基準解雇を含む合理化闘争なりません。きびしさを増す情勢の中で情勢の激変を、今後のたたかいの糧にするために十分検討されなければならぬと、全体の

たたかいをどう進めていくのか。分会活動と一人ひとりの取り組みはどうか、などを含めて、運動の基調が掲げる路線問題、今後の合理化闘争、政策闘争、反戦・平和、労働戦線統一についての方向性。さらに十三項目にわたる具体的な活動を進めていく、確固とした方針を定めることが重要です。

全員が方針案をよく読み、分会での討議で積極的な意見を述べ、集約されることが望まれます。なお、討議の集約は二十八日です。

訴訟団の活動

三井不当解雇訴訟団は七月十九日の裁判提訴以後、総評の支援決議、さつに九州ブロック各県評のカンパ決議をうけて、八月中旬から佐賀県評・各地区労のオルグに入り、九月初旬からは熊本県評関係のオルグに入っています。今後長崎・福岡県評など、さらに活動を強めていくことにしています。

三池不当解雇裁判 第1回公判

とき 10月5日(水)午前11時30分
ところ 福岡地裁大法廷

強制解雇反対・三池裁判闘争 勝利決起集会

とき 10月5日(水)午後6時
ところ 大牟田市労働福祉会館
大ホール
主催 福岡県総評・熊本県総評

はたらく 気楽台



売り上げ税というにかいキャリアがあるじゃないか

地底

▼千ばつかと思ふほど雨が降らない日が続く、そのあとは豪雨。異常気象は世界的なものらしい。千ばつ、高温、多雨、顕著なのは地球全体が冷え込んだせいだという。逆に温度が上がるという説も。ナンは深い。

▼底が割れているナンもある。非公開株をばらまいて政界首脳に巨利を得させたリクルート問題。疑惑の解明が進めば、国民の怒りが高まって消費税法案がふつ飛ぶとばかり、防戦に大わらわ。国会調査権をも踏みしめ、疑惑にふたをする策動は許さぬ。それにしても、野党の「足並み」が危いのも策動のゆえか。

▼米海軍横須賀基地に配備されるイージス巡洋艦と駆逐艦は核ミサイル搭載が濃厚。それでも母港化される。衝撃を与えた海上自衛隊潜水艦によるつり船転覆事件。わがもの顔に海を占有する無法ぶり、救助もしない冷酷さ。以前にもあったアメリカ原潜の当て逃げ、米軍機墜落など、限りなく安保の暗い影がしのび寄る。

▼「従来にも増した団結と行動力」...幾多の試練を乗り越えてきた、輝かしい伝統を再現させ、ねばり強い運動を展開...。どこに出してもおかしくない文句だが、合理化の前後に一万三千五百円の団体奨励金(平和協定の見返り)を受け取り、合理化に協力。それは「連帯感」も「団結力」もないものと、銘すべし。

▼六十歳前半の約六割が「人間は体の動く限り働き続けるのが当然」と考え、それを願っている。労働省の「定年到達者等の六十歳代前半期における就業と生活に関する調査研究」の結果である。六十歳台はともかく五十三歳で労働を奪ったのはだれか。三池での離職者のうち、約七割は働く道を閉ざされたままだ。